

クリンテートFXUV (0.15mm厚) の効果確認



試験ハウス(クリンテートFXUV展張)



試験ハウス内 9月9日撮影



左:試験ハウス 右:慣行ハウス 9月9日撮影

試験目的

クリンテートFXUV(0.15mm厚)の効果確認

試験作物 及び品種

スタンダードカーネーション(パンパ)

試験資材 及び数量(規格)

クリンテートFXUV(0.15mm×1000cm×50m) 1枚

慣行資材

クリンテートFX(0.15mm)、EX(0.13mm)、EXUV(0.13mm)
ハイバールコート(0.13mm・0.15mm)

栽培方法

播種日	収穫日
5月下旬	10月上旬~1月中旬予定

【栽植密度】4ベッド、1ベッド当たり6条×株間20cm

資材使用期間

5月上旬、通年展張

試験区面積

80坪

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

展張した時、慣行品より柔らかく感じた。

順番をつけると、クリンテートFXUV、クリンテートEXUV、ハイバールコートの順に柔らかい。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

紫外線カットタイプではあるが特に問題は発生していない。

(3)資材の強度・耐久性・崩壊性について

透明性・強度ともに慣行品と違いは感じない。

(4)保温効果について

冬場の保温力も含めて、慣行品と遜色ない。

(5)雑草・病害虫の発生について

慣行の紫外線カットフィルムと違いは感じない。

モニター感想

クリンテートEXのような長期展張タイプと比較すると品質面で大きな違いを感じないのにもかかわらず、非常に安価でコストダウンにつながるの魅力的と感じる。

近年は燃料を中心とした経費アップに悩まされており、このような話はありがたい。

通常7~8年は展張しており、同等以上の耐久性が欲しい。できれば10年くらい張りたい。

JA担当者の感想(七飯支店 生産資材課 山本 氏)

今回の試験で、他の長期展張タイプと比較しても、FXUVの0.15mmが問題なく使用できることがわかった。

安価な資材を求める生産者も多いことから、推進する立場からすると、クリンテートEXUVやテキナシ5UVに比べてとても安価な商品のため、販促がしやすいのは良い。

今後、耐久性についても、継続して確認していきたい。

今後の使用について

継続して使用したい。

コストダウンにつながるのが良い。

将来希望する資材について

コストダウン(資材代・灯油代)や保温力アップにつながるような資材があれば良い。